

瑞穂小だより

平成26年10月1日
瑞穂小学校

<学校教育目標> 『「いのち」かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～』
<重点目標> 『 しっかり ルール 表現 勉強 運動 』

平成26年度全国学力・学習状況調査結果について

平成26年4月22日(火)に6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なおこの調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

1 児童に対する調査

(1) 学力に関する調査

<全国学力・学習状況調査>

〔国語A・算数A〕※それぞれ20分

○身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など〔主として「知識」に関する問題〕を中心とした出題

〔国語B・算数B〕※それぞれ40分

○知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容〔主として「活用」に関する問題〕を中心とした出題

(2) 学習状況に関する調査(児童質問紙) 20分程度

小学校第6学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査。

2 調査結果について

(1) 学力に関する調査結果について

国語A、B及び算数A、Bとも、全国平均、兵庫県平均より上回っていました。

今回の調査でも文章のまとまりを理解して読んだり自分の考えやその理由を文章で書いたりする記述式の問題の正答率が低い結果になっています。今後はさらに、「自分の考えや体験等を文章にまとめる学習」「資料から疑問点を見つけたり正確に読み取ったりする学習」「個々の考えをわかりやすく伝える活動」などをおして、言語活動の充実をめざすとともに、「読む・書く・話す力」をバランスよくつけていく必要があります。あわせて集中力や粘り強く取り組む態度の育成も大切だと考えます。

(2) 学習状況に関する調査結果について

- ① ほとんどの児童が「将来の夢や目標を持っている」「どんな理由があってもいじめはいいけない」と答えています。
- ② 平日に家庭で1時間以上学習する児童は、全国より高く6割以上いますが、授業の予習をしている割合は全国と比べると低くなっています。
- ③ 平日に1日当たり2時間以上テレビゲーム等をしている児童は、全国よりやや低いものの3割近くいます。
- ④ 平日に1日当たり30分以上読書をしている児童は、全国が約4割で本校は2割強です。また、学校や地域の図書館に行く回数も全国と比べると低さが目立ちます。
- ⑤ 朝食を毎日食べていると答えた児童は8割強で、全国より少し低くなっています。

(3) 今後の取り組みについて

瑞穂小学校「学力向上」プラン（抜粋）

1. わかる授業づくりと学習意欲向上に取り組みます。

- ① 授業にペア・グループ学習の話す活動を取り入れ、一人一人が自分の考えを持ち、話す力の育成に努めます。
- ② つまづきやすい内容の確実な習得を図るために繰り返し学習を充実させます。
- ③ 知識・技能を活用する学習（観察・実験やレポート作成、論述など）を充実させます。
- ④ 「新学習システム」を有効に活用し、高学年は教科担任制を推進します。
- ⑤ みんなでチャレンジ（靴をそろえる、机の中の整頓等）や「伊丹っ子ルールブック」を活用し、基本的な生活習慣の確立と学習環境の整備を図ります。
- ⑥ 返事・姿勢・学習準備等、基本的な学習規律を高めます。

2. 学習内容の定着に向けた取り組みを実施します。

- ① 放課後学習・土曜学習（瑞穂っ子教室）を実施し、補充学習を充実させます。
- ② 指導と評価を一体化させ、学習内容の定着を図ります。

3. 学校図書館を活用し、読書指導員との連携のもと読書教育を充実します。

- ① 「読書タイム」を充実させ、読書習慣を定着させます。
- ② 「1日に30分以上読書をする」児童の割合をふやします。

4. 家庭・地域・PTAとの連携のもと学習習慣の定着に取り組みます。

- ① 宿題の工夫と「伊丹市家庭学習の手引き」を活用し、各学年の家庭学習時間（10分×学年）の全員達成を目指します。
- ② 毎月25日を「にこにこ読書の日」とし、家族で読書に親しみます。
- ③ 放課後瑞穂っ子教室、土曜瑞穂っ子教室をとおして主体的な学習を目指します。
- ④ 懇談会等で児童の学習状況を保護者にわかりやすく伝え、家庭学習のアドバイスをします。

5. 中学校と連携し、中学校ブロックでの学力向上に努めます。